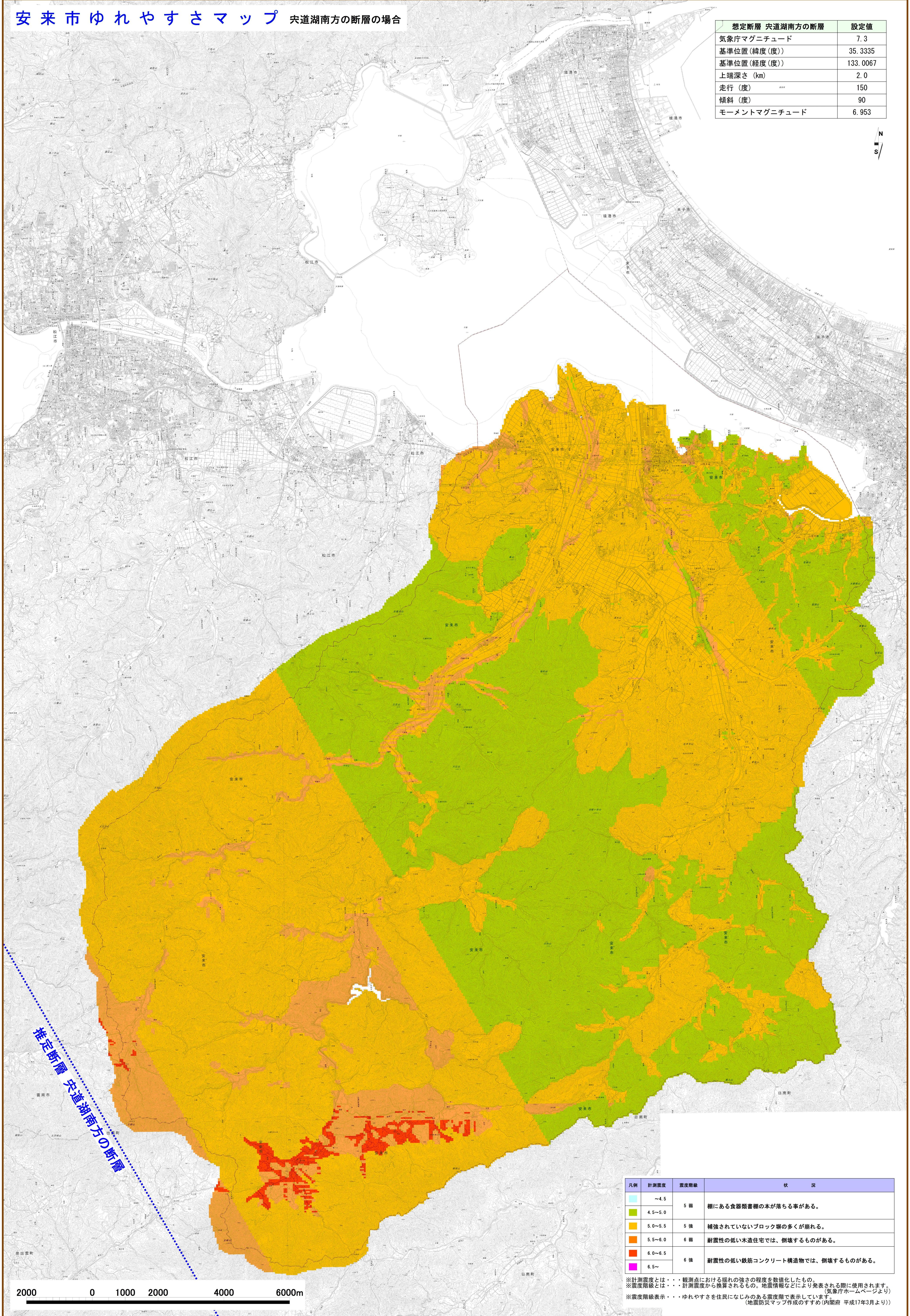


安来市ゆれやすさマップ 宍道湖南方の断層の場合

想定断層 宍道湖南方の断層	設定値
気象庁マグニチュード	7.3
基準位置(緯度(度))	35.3335
基準位置(経度(度))	133.0067
上端深さ(km)	2.0
走行(度)	150
傾斜(度)	90
モーメントマグニチュード	6.953



想定断層 宍道湖南方の断層



凡例	計測震度	震度階級	状況
	~4.5	5弱	棚にある食器類書棚の本が落ちる事がある。
	4.5~5.0	5強	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。
	5.0~5.5	6弱	耐震性の低い木造住宅では、倒壊するものがある。
	5.5~6.0	6強	耐震性の低い鉄筋コンクリート構造物では、倒壊するものがある。
	6.0~6.5		
	6.5~		

※計測震度とは・・・観測点における揺れの強さを数値化したもの。
 ※震度階級とは・・・計測震度から換算されるもの。地震情報などにより発表される際に使用されます。
 ※震度階級表示・・・ゆれやすさを住民になじみのある震度階級で表示しています。(気象庁ホームページより)
 (地震防災マップ作成のすすめ(内閣府 平成17年3月より))